

## 平成28年度第1回志木市社会教育委員会議録

平成28年6月7日（水）

午後2時～3時

いろは遊学館3階第2研修室

出席者 委員：齊藤奈都子、竹前榮二、市之瀬初男、宮原正幸、有馬隆江、高橋友里、阪本達雄、一ノ倉達也、小笠原順子、古田正也、安部卯内、星野久江  
（順不同、敬称略）  
市：尾崎教育長、  
生涯学習課（桶田課長、古屋主幹、武井主査、松永主任）

### 1 開 会 古屋主幹

※現職：渡辺良一氏逝去に伴い、黙とう（1分）

※委嘱状交付式：市之瀬初男（郷土芸能団体連合会）

交付：尾崎健市教育長

※教育長あいさつ：

平成28年度としては第1回目だが、現委員の2年目最後の会議。現社会教育委員に関しては、5年間の生涯学習の指針となる、志木市生涯学習推進指針の策定について、ご尽力をいただきました。

これからは、その指針を具現化するために、引き続き、社会教育委員の皆さんにはご協力をいただきたい。

（事務局）志木市社会教育委員の定数は15名です。本日、所要により欠席されている委員は1番抜井晶子委員、9番西山 真委員、11番可知良之委員の3名で、出席委員は13名です。過半数に達しておりますので、直ちに会議を開会します。

### 2 あいさつ 齊藤奈都子議長

（議長）生涯学習推進指針が策定されましたので、具体化できるようすることが社会教育委員の責務だと、責任を感じています。

### 3 自己紹介（出席委員及び市職員）

#### 4 協議事項

##### (1) 副議長の選任について

(事務局) 副議長の渡辺良一氏が5月1日に逝去されたことにより、副議長が欠員となりました。志木市社会教育委員会会議規則第3条1項の規定により、委員の互選により選任することとなっております。

(議長) 規定により、副議長の選任をおこないます。

どなたか、立候補もしくは推薦はありますか。

(委員) 長く社会教育委員を務めている、竹前榮二氏を推薦したいと思いません。

(議長) ただいま、竹前榮二氏の推薦がありました。竹前さんお受けいただけますか？

(竹前委員) はい。

(議長) 副議長として、竹前榮二氏にお願いすることよろしいですか。

…全員了承…

(議長) 竹前榮二氏を副議長として選任します。竹前副議長就任のごあいさつをお願いします。

(副議長) 副議長に就任しました竹前です。志木市の生涯学習を支える社会教育委員として、議長を補佐してまいりたいと存じます。

よろしくをお願いします。

##### (2) 平成28年度志木市社会教育関係補助金について

- ・運営費補助金について
- ・事業費補助金について

#### 事務局より説明

社会教育法第13条に基づき、社会教育団体に補助金等を出す場合は、社会教育委員会の社会教育委員から意見を伺わなければならないと、されています。

今回の運営費及び事業費補助金の算出は例年通りの方法で行いました。主な内訳としては、運営費は基本助成金が10万円。地縁団体加入割助成金。たとえば、志木市子ども会育成連絡協議会は単子別に50人までが25,000円、500人以上40,000円となります。このほか、郷土芸能団体連合会には伝統芸能継承補助金や伝統芸能育成補助金などの補助金があります。

次に平成28年度の運営活動費補助金の主な団体補助金支給案について説明します。

志木市連合婦人会、6団体214名、補助金額41万円。主な対象事業は市民体

育祭や文化祭への参加です。

志木市 PTA 連合会、13 団体 5561 名。補助金額 66 万円。主な対象事業は親の学習事業実施の協力や家庭教育学級事業の実施です。

志木市子ども会育成連絡協議会 20 団体 1023 名。補助金額 78 万 5 千円。主な対象事業はしき子ども郷土かるた大会事業の実施などです。

志木市郷土芸能団体連合会、9 団体。補助金額 75 万円。主な対象事業は郷土芸能継承支援協力などです。

このほか、志木市人権教育推進協議会 18 万 4 千円、ボーイスカウト志木第一団育成会 10 万円、志木市郷土誌研究会 10 万円、志木市文化協会 10 万円、志木市美術協会 10 万円、志木音楽サークル連絡会 10 万円、総額 328 万 9 千円を補助したいと考えております

次に事業補助ですが、13 団体から申請がありました。志木短歌会や志木市華道連盟など、広く市民を対象とした生涯学習事業を行う団体に認定対象としました。

以上です。

(議 長) 事務局からのご説明に対し、なにか質問はありませんか。

(委 員) このあとの追加申請は受け付けないのか。

(事務局) 運営費が支給率 96%、事業費が 62%なので、若干なら、受け付けはできると思いますので、今後、検討していきます。

(委 員) 何か問題のある団体はあるのですか。

(事務局) 早く補助金を欲している団体もありますが、本会を経て承認となりますので、待っていただいている状況です。なお、団体によっては総会の終了していないところもあり、添付資料(予算書、決算書、証拠書類)が後日の提出という団体もあります。

(委 員) 事業費の補助率は。

(事務局) 対象経費の 2 分の 1 です。

(委 員) 該当外となった団体はありませんか

(事務局) 今回は申請全団体が支給対象となっています。

### (3) その他

- ・志木市生涯学習推進指針について

事務局より説明

5 年に 1 度、策定している。昨年、市民アンケートを実施し、社会教育委員の皆さんに協力していただいて、平成 28 年 3 月に策定し、4 月から施行しています。

これから5年間、生涯学習に係る市民の皆さんや団体の皆さんが活動しやすい環境の方向性として策定したもので、社会教育委員の皆さんには、この指針の具現化に向けたご意見やご協力をお願いしたい。

(委員) この指針は、5年間であるが、進行状況や具体化した確認を何かの方法で確認するのか。

(事務局) 5年間の指針ですので、進捗状況などを本来、年度ごとに確認できるよう、すべきですが、確認のルールは決めてないので、アンケート調査などで図れるようにしていきたいと考えております。

(委員) 年度ごとに、状況は変わると思うので、年度に1回ぐらいは進捗状況調査をしたほうがいいのか。

(事務局) 確かに、状況が変わりますので、何らかの方法で確認していきたいと存じます。

(委員) 今回、何冊印刷したのですか

(事務局) 1,000部です。市庁舎内外、国、県、関係機関などを含め、算出しました。教育委員、社会教育委員ほか、策定にあたりご協力いただいた関係市町村生涯学習関係機関への配布する予定です。

(議長) 社会教育委員の全国研究集會みたいなものに配布したらどうか。

(事務局) 確かにいいPRとなると思いますが、1,000部では足りないと思います。

・人権研修会について

事務局より説明

平成28年度も10回程度の人権研修会を開催する予定。

今回は日本‘文化’再発見として、人権関係で研究書物を執筆している作家・ルポライターの川元祥一さんをお願いして、伝統芸能はどのように生まれたのか？差別を受けてきた人たちが生み出した素晴らしい伝統文化やさまざまな地域の文化・芸能の歴史を探る講演会を6月29日、いろは遊学館で開催します。

更に7月8日には、コミュニケーションや心の言葉として、若いお母さんや女性、一般の市民を対象としたお互いを大切にするために、心をあたたくする言葉をテーマに人権研修会を開催する。4年前にやった研修だが、好評でしたので、再度、行うものです。保育も用意するので、ぜひ、子育て中のお母さんなどにも、声をかけていただきたい。

(3) その他

特になし